

令和八年度 施政方針

令和八年度を迎えるに当たり、市政運営について、私の考えを御説明申し上げます。

防府市は、本年、市制施行九十周年を迎えました。

こうした中、三月五日には、待望の国道二号富海拡幅が四車線で開通します。渋滞緩和や地域産業の競争力の向上など本市の成長・発展につながるものであり、九十周年の年は、幸先の良いスタートとなりました。

さて、私が市政を担わせていただき、八年を迎えようとしています。

この間、「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向け、国及び県との連携の下、市議会議員の皆様、市民の皆様と一緒にあって、まちづくりを進めてまいりました。公約に掲げておりました、市役所の現在地での建替えは、山口県防府土木建築事務所や山口県防府保健所、防府市社会福祉協議会なども入る、行政の拠点として完成いたしました。

山口県農業試験場の誘致は、県の農林業の振興を支える「農林業の知と技の拠点」として実現し、農道牟礼小野線も、令和八年の夏には完成する見込みであり、国道二号の富海拡幅と併せ、防府の未来を支える道路網の構築が進みます。

また、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、二〇三〇年の防府の将来像を見据えた「第五次防府市総合計画」を着実に実行してまいりました。

河川の浚渫や広域防災広場の整備を始めとした防災対策、駅周辺の活性化、道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築、野球場や競輪場、みずかぜ広場の整備などのまちづくり、そして、高校生年代までの医療費の無償化を始めとする子育て支援の充実を図るとともに、防府読売マラソン大会は、マラソングランドチャンピ

オンシッブシリーズ男子グレード1へと成長するなど、防府の明るい未来が見えるようになってまいりました。

市制施行九十周年を迎えた今、この流れを止めることなく加速させ、防府の未来をつくっていかねばなりません。

その道筋は、先の十二月市議会定例会において、全会一致で可決いただきました「第六次防府市総合計画」にお示ししております。

令和八年度は、計画の初年度としてスピード感をもって、計画に掲げる「安全・安心を第一にしたまちづくり」、「未来を拓くこどもの育成」、「健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり」、「活力ある中心市街地の形成」、「強みを活かした産業力の強化」、「恵まれた資源を活かした交流拡大」の六つの重点プロジェクトを確実に進めていかねばなりません。

特に、南海トラフ巨大地震等に備え、安全・安心を支える「防災都市ほうふ」の構築に力を入れています。

具体的には、県が移転・整備される山口県立総合医療センターと一体となった防災・医療の拠点となる広域防災広場や公会堂北防災広場の整備による「防災ネットワーク」と、さらに、それを支える道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築、障害福祉施設愛光園、大平園、なかよし園の建替え、避難所となる全ての小・中学校の体育館へのエアコンの設置、そして、初めてとなる初動七十二時間の市民総合防災訓練などに全力で取り組んでまいります。

そして、今年、市制施行九十周年です。

八月二十三日には、三友サルビアホールで記念式典を開催します。

また、一年を通して「歴史のまち防府」、「スポーツのまち防府」、「音楽のまち防府」としての魅力をいかした多彩な記念イベントを市民の皆様と共に展開し、

防府のまちの元気を百周年に向けての推進力にしたいと考えています。

改めて、防府市は今年、市制施行九十周年です。先達が築いてこられた歩みとその重みを胸に刻み、百周年に向けて、スピード感をもって立ち止まることなく、進んでいかなければなりません。

こうした方針の下、新年度当初予算は、「第六次防府市総合計画」の初年度として、計画に沿って重点プロジェクトを確実に進めるための必要な予算を計上した、防府の「未来をつくる」年間総合予算として編成いたしました。

私は、県央部、そして山口県をけん引する都市を目指し、市民の皆様と一緒に様々な挑戦を重ねてまいります。そして、十年後の市制施行百周年には、九十周年の年はすばらしかったと思っただけのような市政を前に進めていきたいと考えています。

市議会議員の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます、施政方針といたします。